

第41回 アストロトーク



講演 13:30 - 14:30

『天の川の向こうに広がる宇宙』

京都情報大学院大学教授 作花一志 氏

京都千年天文学街道

映像による講演 14:45 - 15:30

『Mitakaで見る宇宙のすがた ～太陽系外の天体～』

京大・理・附属天文台天文普及プロジェクト室室長/
京都情報大学院大学准教授 青木成一郎 氏

コロナ感染対策のために3Dメガネは使用しませんので、立体視ではありません。

2023年7月8日(土) 13:30 - 15:30 (受付13:15から)

開催場所： 京都大学総合博物館[百万遍下ル] 3階講演室

参加条件： 小学生以上 (小学生は保護者同伴)

参加費資料代： 小中学生500円、一般 (高校生以上) 1,000円

定員： 30名 (先着順)

申込方法 7月3日(月) 申込み〆切

- ・ 申込みは以下のウェブサイトから
お願いします

<http://www.tenmon.org/>

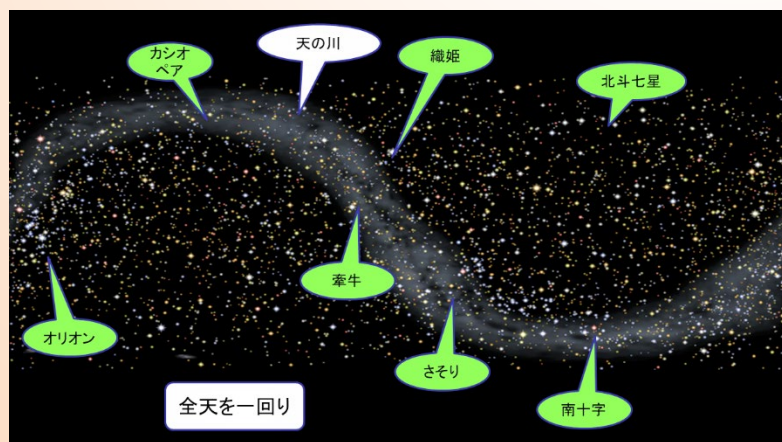
別途、博物館の入館料が必要です。

一般400円、大学生300円

ただし、以下の方々は入館料は無料です (証明書類の提示が必要)。

- ・ 障害者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方1名
- ・ 70歳以上または18歳未満の方
- ・ 小学生、中学生、高校生
- ・ 京都府下の大学に在籍する学生
- ・ 京都大学の学生・教職員

※博物館の事情により変更となる可能性があります。



天の川 (画像提供:ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ)



天の川銀河のCG
(画像提供: NASA/JPL-Caltech)



主催 認定NPO法人花山星空ネットワーク

共催 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科附属天文台

後援 京都府教育委員会

協力 京都情報大学院大学、株式会社HERO、恒星社厚生閣

<http://www.tenmon.org/> (京都千年天文学街道ホームページ)

・ アストロトークの概要

- － **講演の概要**:セタの星々から天の川に潜む超新星残骸、ブラックホール、衝突する銀河、さらに大宇宙の彼方まで眺めてみましょう。生命可能な星が見つかるかもしれません。
- － **映像による講演の概要**:国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト提供の Mitaka に京都大学独自の天文映像を組み合わせ、インタラクティブな映像を見ながら宇宙のすがたを紹介します。地球を離れて、太陽系外の外にある星々や私たちの銀河である天の川銀河などを見ながら、宇宙の地平線まで見ていきます。

・ 講演者紹介



作花 一志(京都情報大学院大学 教授):講演担当

- ・ 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了(理学博士)。専門は古天文学。歴史に残された天文記事を計算で再現し天変と言われた現象や過去から未来の惑星直列や小惑星ニアミスなどを調べている。また、天文教育普及研究会にて編集委員長を長く務めた。著書「天文学入門」(オーム社)「歴史を揺るがした星々」「天変の解読者たち」(恒星社厚生閣)など。NHKコズミックフロントなどのメディアでの出演多数。



青木 成一郎(京大天文台 天文普及プロジェクト室室長/
京都情報大学院大学 准教授):映像による講演担当

- ・ 東京大学大学院理学系研究科博士後期課程修了(博士(理学))。専門は宇宙プラズマ物理学。天文教育普及にも力を入れており、4次元宇宙シアターによるイベント運営多数。「京都千年天文学街道」実行副委員長。「平成25年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門」受賞。著書「東日本大震災と災害周辺科学」(古今書院)など。NHKコズミックフロントやKBS/BS11京都浪漫などメディアでの出演あり。

・ 京都大学総合博物館への行き方



■京都市バスをご利用の場合

JR/近鉄京都駅から 17,206 系統
阪急河原町駅から 3,17,31,201 系統
地下鉄烏丸線今出川駅から 201,203 系統
地下鉄東西線東山駅から 31,201,206 系統
百万遍(ひゃくまんべん)停留所で下車徒歩約2分

■京阪電鉄をご利用の場合

京阪本線「出町柳(でまちやなぎ)」駅で下車、今出川通りを東進
百万遍(ひゃくまんべん)交差点を南に折れてすぐ(出町柳駅から徒歩15分)

総合博物館周辺の地図



京都千年天文学街道では、京都の天文関連史跡をまちあるきで巡りながら、京都での平安時代から現代に渡る千年の天文観測及び天文学研究とそのつながりを知る「京都千年天文学街道ツアー」を開催しています。詳しくは、京都千年天文学街道のチラシ、またはホームページをご覧ください。



京都千年天文学街道ホームページ

<http://www.tenmon.org>

QRコード(携帯電話など)→

